



労働市場情報 2022年6月

株式会社 ノーザンライツ

目次

- 一般職業紹介状況（2022年6月 全体）
- 地域別 有効求人倍率
- 雇用形態別 新規求人数・新規求職者数
- 産業別・事業所規模別 新規求人数
- 職業別 有効求人倍率
- 労働力調査（2022年6月）
- 求職者動向 非正規労働者マイナビ調査（2022年5月～6月）
- TOPICS

一般職業紹介状況（2022年6月 全体）

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

		季節調整値								
		新規求人倍率	有効求人倍率	就職率 (対新規)	充足率 (対新規)	新規求人数	新規求職申込 件数	有効求人数	有効求職者数	就職件数
		倍	倍	%	%	人	件	人	人	件
2022年 (令和4年)	6月	2.24	1.27	27.2	12.2	865,444	386,484	2,499,595	1,975,283	105,204
	前月比	▲ 0.03	0.03	0.50	0.50	▲ 15376	▲ 735	42861	554	1709
	前年同月比	0.14	0.14	▲ 1.00	▲ 1.30	85962	15073	329415	47262	342
	2019年12月比	▲ 0.17	▲ 0.30	▲ 3.40	▲ 0.50	▲ 91283	▲ 9958	▲ 162061	276059	▲ 16015

2019年12月

⇒日本で新型コロナ感染が確認される前

2021年6月（前年同月）

⇒新規感染者・重症者・死亡者減少傾向

新規求人数減少の一方、前月より有効求人数増加幅大

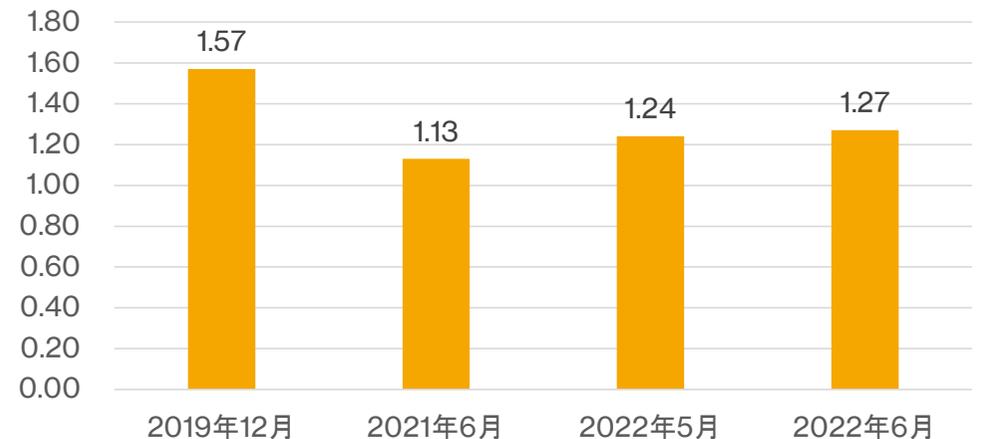
有効求人倍率前月比、6カ月連続増加。正社員+0.02、AP+0.04

増加幅が有効求職者数<有効求人数。

APの前年同月伸び率は2021年以降毎月上昇している。

(6月伸び率0.15)

有効求人倍率

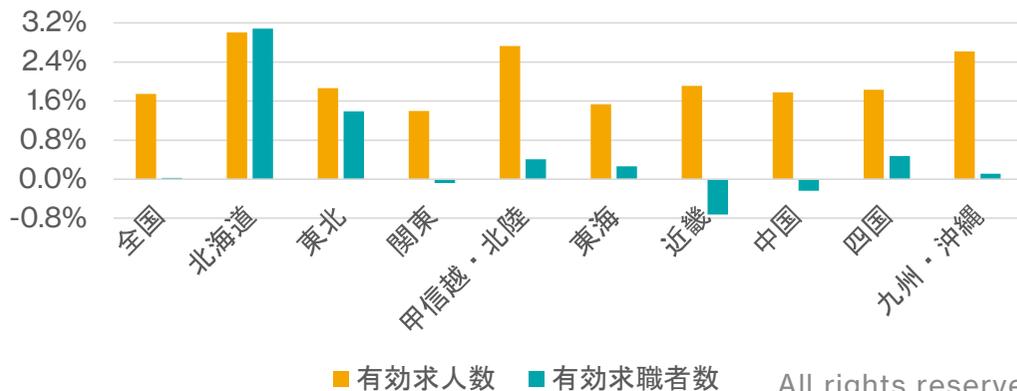


地域別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

パートタイムを含む 一般（季節調整値）		全国計	北海道	東北	関東	甲信越 北陸	東海	近畿	中国	四国	九州 沖縄
2022年（令和4年）	6月	1.27	1.12	1.37	1.21	1.60	1.40	1.16	1.54	1.36	1.24
	前月比	+ 0.03	0.00	+ 0.01	+ 0.02	+ 0.04	+ 0.02	+ 0.03	+ 0.03	+ 0.02	+ 0.03
	前年同月比	+ 0.14	+ 0.11	+ 0.11	+ 0.17	+ 0.23	+ 0.20	+ 0.08	+ 0.15	+ 0.10	+ 0.12
	2020年3月 対比	▲ 0.12	▲ 0.01	+ 0.08	▲ 0.21	+ 0.17	▲ 0.01	▲ 0.25	▲ 0.13	▲ 0.06	▲ 0.01

有効求人数・有効求職者数 前月比伸長率



求人は、ハローワークでの新規募集が関東以外の地域で2020年3月比（1回目緊急事態宣言前）増加。新規求職者は前月比が減少しており、東北・甲信越北陸以外の地域2020年3月比増加傾向になっている。

アクティブ数で見ると、求人数は北海道、甲信越北陸、九州沖縄の前月比伸長率が2%以上。求職者数は関東・近畿・中国以外で増加傾向。

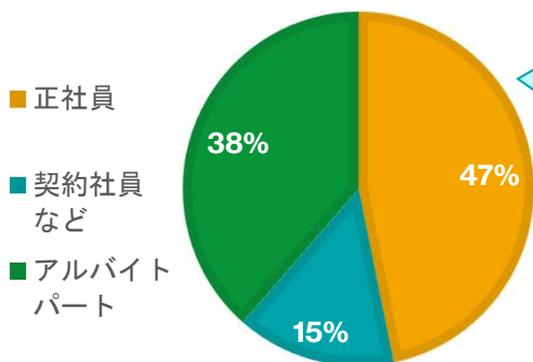
雇用形態別 新規求人数・新規求職者数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

雇用形態別新規求人数 (実数)		合計	正社員	契約社員 など	アルバイト パート
2022年 (令和4年)	6月	892,186	417,513	130,675	343,998
	前月対比率	111.0%	111.6%	114.8%	108.8%
	前年同月比率	112.0%	109.2%	112.2%	115.4%
	2020年3月 対比率	106.9%	111.4%	107.9%	101.6%

雇用形態別新規求職者数 (実数)		合計	正社員 契約社員	アルバイト パート
2022年 (令和4年)	6月	385,556	243,461	142,095
	前月対比率	94.5%	98.3%	88.6%
	前年同月比率	103.3%	101.9%	105.7%
	2020年3月 対比率	93.9%	88.2%	105.7%

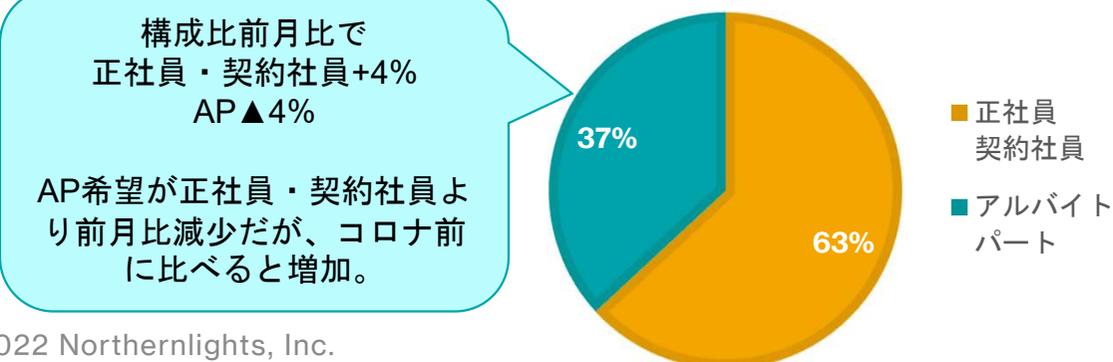
新規求人数 雇用形態別割合



構成比前月比で
正社員±0%・契約社員
+1%・AP▲1%

契約社員比率の前月比上昇
が目立つ。

新規求職者数 雇用形態別割合



構成比前月比で
正社員・契約社員+4%
AP▲4%

AP希望が正社員・契約社員より
前月比減少だが、コロナ前
に比べると増加。

産業別・事業所規模別 新規求人数

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

産業別（実数）	2022年 （令和4年）		前年同月 比率	2020年3月 対比率
	6月	前月比率		
合計	892,186	111.0%	112.0%	106.9%
A, B 農, 林, 漁業	6,583	102.6%	102.1%	107.3%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	481	112.4%	108.8%	108.3%
D 建設業	88,276	119.8%	102.1%	121.9%
E 製造業	94,662	115.4%	116.9%	132.5%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	758	112.5%	95.2%	83.8%
G 情報通信業	22,355	111.5%	113.5%	103.6%
H 運輸業, 郵便業	48,347	109.4%	111.9%	105.3%
I 卸売業, 小売業	107,995	107.1%	112.3%	95.0%
J 金融業, 保険業	5,329	103.9%	113.9%	103.8%
K 不動産業, 物品賃貸業	17,809	123.6%	111.5%	103.6%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	22,960	107.2%	107.3%	112.9%
M 宿泊業, 飲食サービス業	68,889	108.6%	130.9%	101.5%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	28,775	96.5%	116.7%	96.5%
O 教育, 学習支援業	14,745	123.5%	103.9%	81.6%
P 医療, 福祉	222,304	108.5%	109.4%	105.4%
Q 複合サービス事業	4,575	97.3%	119.3%	103.9%
R サービス業（他に分類されないもの）	123,010	116.2%	113.2%	120.8%
S, T 公務（他に分類されるものを除く）・その他	14,333	100.3%	107.3%	54.2%

事業規模別（実数）	2022年 （令和4年）		前年同月 比率	2020年3月 対比率
	6月	前月比率		
合計	892,186	111.0%	112.0%	106.9%
29人以下	577,200	111.3%	111.1%	108.5%
30～99人	205,348	110.9%	114.4%	104.8%
100～299人	74,397	109.7%	111.9%	102.3%
300～499人	14,525	106.9%	107.6%	96.6%
500～999人	10,639	103.8%	114.4%	103.8%
1,000人以上	10,077	113.6%	118.8%	114.3%

<産業別>

- ◆5月に正社員・APともに増加著しかった生活関連サービス・娯楽業が前月比割れ。
- ◆宿泊業・飲食サービス業のうち、正社員・APともに飲食サービス業は2020年3月水準に届かず、宿泊業の求人数の伸びが顕著。

<事業規模別> 正社員・APともに全規模で前年同月以上

- ◆正社員：すべての規模で宣言前を上回る。
- ◆AP：30人未満・500～999人規模で宣言前を上回る。300人未満・500人以上規模で前月比増加。

職業別 有効求人倍率

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況」

	6月	前月比	前年同月比
管理的職業	1.04	0.07	▲ 0.08
専門的・技術的職業	1.67	0.07	0.06
開発技術者	1.67	0.11	0.24
製造技術者	0.71	0.03	0.12
建築・土木・測量技術者	4.91	0.13	0.15
情報処理・通信技術者	1.45	0.06	0.19
その他の技術者	1.73	0.20	0.20
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	1.83	0.03	0.07
保健師、助産師、看護師	1.89	0.03	0.00
医療技術者	2.80	0.20	0.10
その他の保健医療の職業	1.59	0.06	0.11
社会福祉の専門的職業	2.61	0.17	0.01
美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者	0.21	0.00	▲ 0.01
その他の専門的職業	0.68	0.02	0.02
事務的職業	0.39	0.01	0.06
一般事務の職業	0.31	0.01	0.05
会計事務の職業	0.62	0.02	0.06
生産関連事務の職業	1.76	0.06	0.38
営業・販売関連事務の職業	0.92	0.03	0.19
外勤事務の職業	2.58	▲ 0.25	▲ 0.01
運輸・郵便事務の職業	2.39	0.12	0.64
事務用機器操作の職業	0.35	0.00	0.02
販売の職業	1.74	0.07	0.26
商品販売の職業	1.72	0.06	0.31
販売類似の職業	1.86	0.16	0.10
営業の職業	1.77	0.09	0.18

	6月	前月比	前年同月比
サービスの職業	2.74	0.10	0.44
家庭生活支援サービスの職業	2.78	0.32	▲ 0.76
介護サービスの職業	3.52	0.11	0.04
保健医療サービスの職業	2.80	0.15	0.25
生活衛生サービスの職業	3.13	0.15	0.03
飲食物調理の職業	2.49	0.02	0.75
接客・給仕の職業	2.77	0.16	1.05
居住施設・ビル等の管理の職業	0.90	0.05	0.08
その他のサービスの職業	1.55	0.09	0.19
保安の職業	5.50	0.26	0.11
農林漁業の職業	1.29	0.00	0.04
生産工程の職業	1.86	0.03	0.34
生産設備制御・監視の職業（金属）	1.45	▲ 0.07	0.24
生産設備制御・監視の職業（金属除く）	2.50	0.08	0.64
生産設備制御・監視の職業（機械組立）	1.24	0.03	0.45
金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	3.05	0.05	0.58
製品製造・加工処理の職業（金属除く）	2.04	0.05	0.45
機械組立の職業	0.90	0.01	0.21
機械整備・修理の職業	3.91	0.13	0.13
製品検査の職業（金属）	1.90	0.05	0.34
製品検査の職業（金属除く）	2.34	▲ 0.03	0.32
機械検査の職業	1.50	▲ 0.05	0.28
生産関連・生産類似の職業	0.93	0.01	0.09

	6月	前月比	前年同月比
輸送・機械運転の職業	1.92	0.07	0.15
鉄道運転の職業	0.50	▲ 0.02	0.09
自動車運転の職業	2.18	0.10	0.13
船舶・航空機運転の職業	0.43	0.05	▲ 0.15
その他の輸送の職業	0.81	0.03	0.23
定置・建設機械運転の職業	1.71	0.04	0.14
建設・採掘の職業	4.85	0.19	▲ 0.01
建設躯体工事の職業	9.26	0.40	0.33
建設の職業	4.15	0.19	0.10
電気工事の職業	3.16	0.02	▲ 0.14
土木の職業	5.42	0.32	▲ 0.11
採掘の職業	5.77	0.45	1.97
運搬・清掃・包装等の職業	0.74	0.02	0.14
運搬の職業	1.25	0.03	0.21
清掃の職業	1.70	0.07	0.35
包装の職業	2.30	0.00	0.26
その他の運搬・清掃・包装等の職業	0.30	0.00	0.05
分類不能の職業	0.00	0.00	0.00
介護関係職種（注2）	3.59	0.15	0.06

（注2）介護関係職種「福祉施設指導専門員」「その他の社会福祉の専門的職業」、
「家政婦（夫）、家事手伝い」「介護サービスの職業」の合計。

前月比で正社員はほとんどの職種で求人数増加の一方、求職者は全体的に減少。APは生産関連以外の求人数増加傾向で、求職者は外勤事務、運輸郵便事務、包装が増加。

労働力調査（2022年6月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

※単位：万人

雇用形態別内訳	男女計	前年同月比	男性	女性	男性 前年同月比	女性 前年同月比
正社員	3602	▲ 5	2345	1257	▲ 38	+ 32
アルバイト・パート	1466	▲ 6	350	1117	+ 11	▲ 16
派遣社員	158	+ 18	69	89	+ 16	+ 3
契約社員	283	+ 4	150	133	+ 8	▲ 4
嘱託	113	▲ 1	69	43	▲ 5	+ 3
その他	85	+ 2	41	44	+ 2	0

前年同月：2021年6月（新規感染者・重症者・死亡者減少傾向）
コロナ禍中で雇用形態別・男女別の推移が見られる

前月比で正社員が男性▲9万人・女性▲15万人、非正規労働者が男性+15万人・女性+12万人
労働力人口が男性+9万人・女性+15万人、非労働力人口が男性▲11万人・女性▲20万人

前月比で労働力人口が5か月連続で増加し、正社員は減少、非正規が増加という傾向。

前年同月比でみると、正社員は男性が減少し女性が増加。APは男性が増加し女性が減少。派遣社員が男女とも増加し、契約社員は男性が増加。

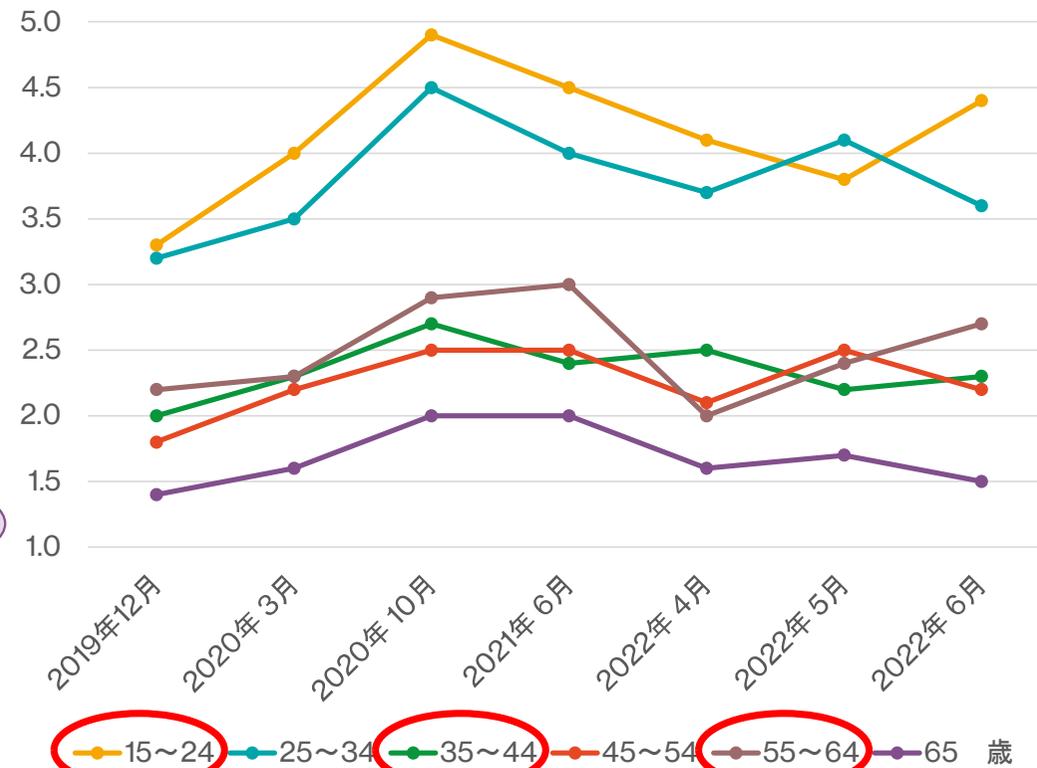
労働力調査 (2022年6月)

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業率 (%) 季節調整値

前月比±0
男性▲0.1、女性+0.1

完全失業率 (%) 年代別



<完全失業率とは?>

労働力人口のうち調査期間中に下記に当てはまる比率

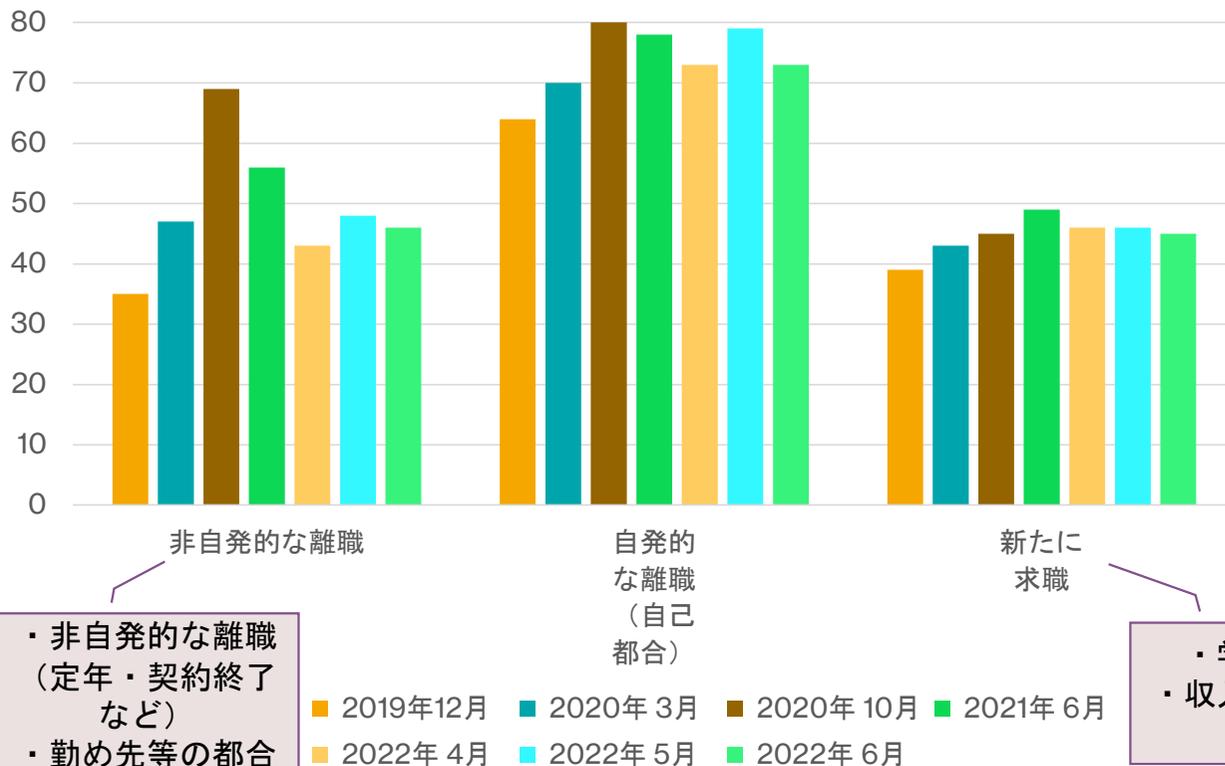
- ・ 仕事がなくして仕事をしなかった
- ・ 仕事があればすぐに就ける ・ 求職活動をしていた

学生や主婦層、中高年に影響が出ているか。

労働力調査（2022年6月）

出典：総務省統計局「労働力調査」

完全失業者（万人） 求職理由別



非自発的な離職は微減。勤め先都合が減少し、定年・契約終了要因が微増している。自己都合による離職が減少に転じた。休んでいたが労働による収入が必要になり新たに求職を始めた人はここ5か月同水準。

新規求人数が5月増加の反動で6月は減少したが、労働力人口増加・非労働力人口減少と、雇用情勢は改善傾向を維持していると見られる。正社員が減少している一方、派遣社員や契約社員の増加が見られている。6月は再び新型コロナウイルス感染者数が増加し、7月には変異株BA.5系統の拡大による「第7波」が到来している。9月以降の秋採用にどう影響が出るか。

- ・非自発的な離職（定年・契約終了など）
- ・勤め先等の都合

- ・学卒未就職
- ・収入の必要発生
- ・その他

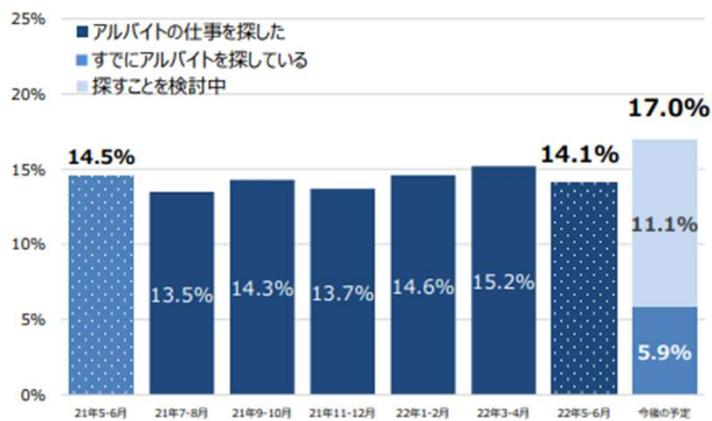
求職者動向 非正規労働者マイナビ調査 (2022年5月～6月)

3月～4月に活発化した分、5月～6月は前年同期間比でも減少
シニアが前年同期間を上回る動きを見せる

出典：マイナビキャリアリサーチLab
「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年5-6月）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20220803_32451/

5月～6月のアルバイトの新規就業率は全体で5.7%と、3月～4月比▲25pt。「軽作業」「飲食・フード」は探した人は3月～4月より減少だが、新しく就いた人が増加。「飲食・フード」は探された職種・新しく就いた職種両方で前年同期間比減少。一方、「工場・倉庫・建築・土木」が探された職種・新しく就いた職種両方で増加が目立つ。「レジャー・アミューズメント」は3月～4月比・前年同期間比ともに新しく就いた人の増加が目立ち、探した人の増加は落ち着いている。

【図1】アルバイトの仕事を探したか（複数回答）



それぞれの属性において当該期間アルバイトの仕事を探していた人の割合

	全体	学生	主婦	フリーター	シニア
回答数：	(15,972)	(1,427)	(3,413)	(1,350)	(3,270)
22年5-6月	14.1%	45.8%	16.7%	19.3%	6.2%
参考 過去数値					
22年3-4月	15.2%	46.8%	18.5%	20.4%	6.9%
22年1-2月	14.6%	46.9%	16.9%	20.3%	7.0%
21年5-6月	14.5%	47.7%	17.4%	20.3%	5.5%

■ 全体+5ptより高い
■ 全体+10ptより高い
■ 全体-5ptより低い
■ 全体-10ptより低い

All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

【図4】アルバイトの仕事で探した上位10職種（複数回答）

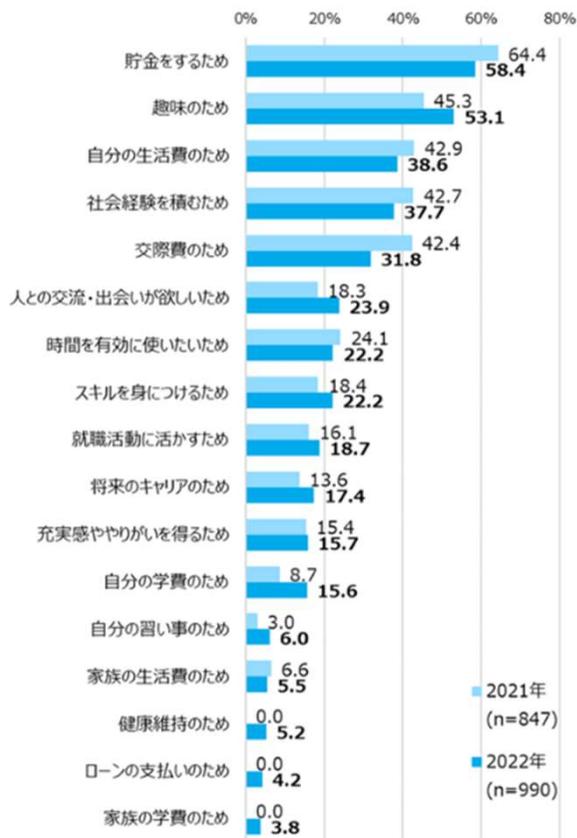
回答数：1,304

職種	22年5-6月	22年3-4月比	21年5-6月比
オフィスワーク	29.0%	-0.9pt	+3.0pt
販売・接客・サービス	28.9%	±0.0pt	+0.5pt
軽作業	22.0%	-1.1pt	-2.8pt
飲食・フード	17.9%	-1.1pt	-7.6pt
工場・倉庫・建築・土木	13.4%	+0.9pt	+5.9pt
警備・清掃・ビル管理	9.9%	+0.5pt	+0.7pt
医療・介護・保育	8.7%	+0.6pt	+0.7pt
イベント・キャンペーン	8.1%	+1.8pt	-2.2pt
レジャー・アミューズメント	7.7%	+1.1pt	-0.4pt
教育	6.4%	+0.4pt	-1.2pt

求職者動向 学生編

【図1】アルバイトの目的（複数回答）

※ベース：現在アルバイト就業中の大学生（2022年で降順）



依然販売・飲食業が人気だが、他の職種に流れている傾向

依然として2020年度までトップ人気だった飲食業を販売接客サービスの人気を上回る。3月～4月比で販売接客サービスが▲5.9pt、飲食業が▲2.8pt、オフィスワーク+1.7ptとなり、販売接客サービスや飲食業からオフィスワーク、教育、工場・倉庫・建築・土木希望に流れている傾向となった。教育、軽作業、工場・倉庫・建築・土木希望の増加が目立つ。（図表はフリーター編のページ参照）

新たに就いた職種では販売接客サービス、飲食業、オフィスワーク、軽作業の順。

大学生のアルバイトの目的において「趣味のため」「自分の学費のため」「交流・出合いが欲しいため」が2021年より増加。友人との食事や旅行などの機会がコロナの影響で減少し、「交際費のため」が2021年より減少している。

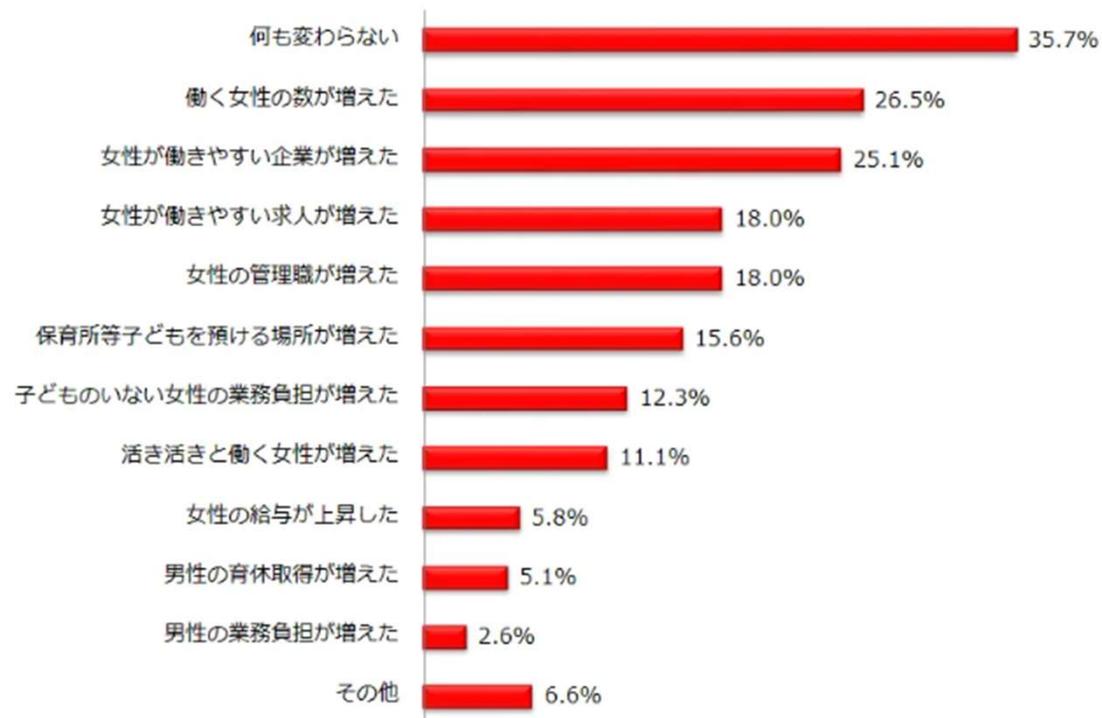
出典：マイナビキャリアリサーチLab「大学生のアルバイトに関するレポート（2022年）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20220705_31039/

求職者動向 主婦・主夫編

女性活躍推進法改正を知らなかった女性86.3%、低年齢層ほど関心が薄い

今年4月から改正された「女性活躍推進法」により、女性活躍行動計画の策定・届出、情報公表の義務対象が常時雇用従業員101人以上の事業主となった。7月には公表項目に「男女賃金差異」を追加する省令改正も行われたが、女性たちの見方は法改正だけで実情が伴わないと期待感が薄め。40代以下の低年齢層ほど、まさに子供に手がかかる時期なものもあり、「女性活躍」とまだまだ謳わなければならない現状を嘆く声が多い。法改正の効果実感が生まれるには時間を要するが、企業の対応が中身の伴ったものでないと意味がない。また、働きたいわけではない女性からは男性の給与を上げるべきとの声もある。未活用労働力を取り込みたい政府の目論みと女性たちの意向はかみ合うのだろうか。

女性活躍推進法が施行されてから、どんな変化が起きたと感じますか。(複数回答)



出典：PR TIMES「女性活躍推進法でどんな変化が起きた？「変わらない」35.7%、「働く女性の数が増えた」26.5%
／2022年4月からの対象拡大を「知らなかった」86.3% ～しゅふJOB総研調査～

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000738.000003176.html> All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

求職者動向 フリーター編

出典：マイナビキャリアリサーチLab
 「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年5-6月）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20220803_32451/

依然オフィスワークに人気集中するも、3月～4月比で軽作業、工場・倉庫・建築・土木の希望増加が目立つ

【年代・属性別】

	全体	年代別						属性別			
		15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	学生	主婦	フリーター	シニア
回答数：	(2,716)	(399)	(548)	(562)	(546)	(349)	(312)	(542)	(718)	(315)	(297)
飲食・フード	8.1%	16.8%	11.5%	6.6%	5.1%	3.4%	3.8%	15.5%	7.0%	5.4%	3.4%
販売・接客・サービス	17.5%	27.6%	22.8%	16.5%	14.7%	9.7%	10.3%	26.4%	16.6%	15.9%	10.8%
レジャー・アミューズメント	2.1%	3.5%	3.5%	2.0%	0.9%	0.9%	1.3%	4.4%	1.1%	1.6%	1.0%
イベント・キャンペーン	2.0%	2.8%	2.4%	0.9%	2.7%	1.7%	1.0%	3.3%	1.8%	1.3%	1.0%
営業	1.1%	0.8%	2.0%	0.7%	0.9%	0.9%	1.3%	0.7%	0.3%	0.6%	1.3%
オフィスワーク	20.8%	4.5%	16.1%	25.1%	25.5%	24.9%	29.5%	6.3%	28.4%	23.2%	29.6%
医療・介護・保育	5.1%	1.5%	3.3%	6.0%	7.3%	6.9%	5.1%	1.7%	10.0%	3.2%	4.7%
教育	4.1%	8.8%	4.9%	1.8%	2.2%	3.2%	5.1%	9.0%	3.3%	1.3%	5.4%
配送・引越・ドライバー	2.1%	1.5%	0.7%	2.3%	2.4%	3.2%	3.5%	1.5%	1.0%	1.9%	3.7%
軽作業	11.7%	11.0%	7.3%	11.4%	12.3%	18.3%	12.5%	9.8%	13.1%	14.0%	12.8%
工場・倉庫・建築・土木	7.5%	8.3%	8.0%	7.1%	8.6%	7.2%	4.5%	8.3%	4.5%	10.8%	4.0%
警備・清掃・ビル管理	4.2%	3.3%	2.7%	4.8%	3.5%	4.9%	7.4%	3.0%	2.4%	6.3%	7.4%
エンジニア・サポート・保守	1.1%	0.3%	1.1%	1.6%	1.5%	1.4%	0.6%	0.6%	0.4%	1.0%	0.7%
クリエイティブ・編集	1.9%	0.5%	2.4%	2.8%	2.2%	2.3%	0.3%	0.7%	1.3%	2.9%	0.0%
エステ・理美容	0.4%	1.3%	0.5%	0.2%	0.2%	0.3%	-	0.9%	0.1%	0.3%	0.0%
その他	10.4%	7.8%	10.8%	10.1%	10.1%	10.9%	13.8%	7.9%	8.8%	10.5%	14.1%

3月～4月比で、オフィスワーク、販売接客サービスの順番が変わらない中、オフィスワーク希望が増加し、販売接客サービス、飲食フードといった対面サービスが減少。軽作業が+2.3%、工場・倉庫・建築・土木が+2.4%となった。

フリーターでいる理由が年代別も上位3位が変わらないが、若年層ほど明確な職業を思い描けず、高年層ほど正社員に就けないことが多い傾向。非就労者のうち求職活動をしていない人が7割弱、スキルや体力体調に自信がない様子が多く見られる。コロナの影響もあるだろうが、他の属性以上に「楽に働きたい」という趣向が強くみられる。

- 全体+5ptより高い
- 全体+10ptより高い
- 全体-5ptより低い
- 全体-10ptより低い

全体
n=1734

- 正社員で働くより楽だから
25.4%
- 明確な職業を思い描けなかった
21.3%
- 正社員として雇ってくれるところがなかった
18.6%

出典：マイナビキャリアリサーチLab
 「フリーターの意識・就労実態調査（2021年）」
https://career-research.mynavi.jp/research/20211007_17077/

求職者動向 同一職種希望が多いのは？

オフィスワーク、医療福祉に加え、軽作業は3期連続で同一職種希望。配送・引越し・ドライバー、警備・清掃・ビル管理の同一職種希望増加が目立つ

「飲食・フード」勤務者のうち同一職種希望が3月～4月の50.4%から、今回39.7%まで従来の水準に戻る。3月～4月比で「配送・引越し・ドライバー」(+9.5%)「警備・清掃・ビル管理」(+6.6%)が同一職種希望増加が目立っている。

一方、「配送・引越し・ドライバー」勤務者のうち「軽作業」希望が増加。「レジャー・アミューズメント」勤務者で「販売・接客・サービス」希望が、「教育」勤務者で「オフィスワーク」が増加している。

		現在の職種													
		アルバイト全体	飲食・フード	販売・接客・サービス	レジャー・アミューズメント	営業	オフィスワーク	医療・介護・保育	教育	配送・引越し・ドライバー	軽作業	工場・倉庫・建築・土木	警備・清掃・ビル管理	エンジニア・サポート・保守	クリエイティブ・編集
回答数:	(1,476)	(116)	(255)	(33)	(67)	(270)	(113)	(76)	(38)	(65)	(181)	(61)	(45)	(37)	
今後希望しているアルバイトの職種	飲食・フード	8.3%	39.7%	7.8%	6.1%	11.9%	4.8%	0.9%	3.9%	5.3%	1.5%	9.4%	6.6%	2.2%	5.4%
	販売・接客・サービス	17.7%	17.2%	40.8%	27.3%	20.9%	9.3%	9.7%	21.1%	15.8%	6.2%	14.9%	8.2%	13.3%	8.1%
	レジャー・アミューズメント	2.6%	0.9%	3.1%	18.2%	3.0%	1.5%	0.9%	1.3%	5.3%	1.5%	2.8%	3.3%	4.4%	2.7%
	イベント・キャンペーン	2.0%	2.6%	2.0%	3.0%	3.0%	0.7%	1.8%	2.6%	5.3%	1.5%	0.6%	0.0%	0.0%	2.7%
	営業	1.7%	0.0%	0.8%	3.0%	23.9%	0.7%	0.9%	1.3%	0.0%	0.0%	0.6%	1.6%	0.0%	0.0%
	オフィスワーク	19.6%	10.3%	13.3%	9.1%	11.9%	57.4%	7.1%	17.1%	0.0%	6.2%	8.8%	4.9%	15.6%	18.9%
	医療・介護・保育	5.7%	4.3%	1.2%	3.0%	1.5%	1.5%	54.9%	0.0%	2.6%	1.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	教育	4.1%	3.4%	2.0%	3.0%	1.5%	1.5%	2.7%	35.5%	0.0%	1.5%	2.2%	0.0%	4.4%	2.7%
	配送・引越し・ドライバー	2.4%	0.0%	1.2%	0.0%	4.5%	0.7%	1.8%	1.3%	28.9%	1.5%	2.8%	1.6%	2.2%	2.7%
	軽作業	9.0%	6.0%	7.5%	9.1%	6.0%	3.7%	6.2%	1.3%	15.8%	50.8%	8.8%	8.2%	8.9%	13.5%
	工場・倉庫・建築・土木	9.1%	6.9%	7.5%	12.1%	3.0%	5.6%	3.5%	3.9%	10.5%	9.2%	29.8%	4.9%	2.2%	2.7%
	警備・清掃・ビル管理	4.1%	0.0%	2.0%	3.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	4.4%	44.3%	0.0%	5.4%
	エンジニア・サポート・保守	1.6%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	1.8%	0.0%	2.6%	0.0%	1.1%	0.0%	37.8%	0.0%
	クリエイティブ・編集	2.6%	1.7%	1.2%	0.0%	0.0%	2.6%	0.9%	2.6%	5.3%	0.0%	2.2%	3.3%	4.4%	24.3%
エステ・理美容	0.4%	1.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	
その他	9.2%	5.2%	9.0%	3.0%	9.0%	5.9%	7.1%	7.9%	2.6%	15.4%	9.9%	11.5%	4.4%	10.8%	

※「現在の職種」は回答数が30以上の職種のみ記載

出典：マイナビキャリアリサーチLab

「非正規雇用に関する求職者・就業者の活動状況調査（2022年5-6月）」

https://career-research.mynavi.jp/research/20220803_32451/

All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

全体+5ptより高い
全体+10ptより高い
全体-5ptより低い
全体-10ptより低い

TOPICS①

更年期症状が労働者に及ぼす影響

4. 「力が出せない」75.2%、「精神が不安定」「誤解を受けやすい」51.4%

「ある」と回答した方にお尋ねします。どのようなことで不利な状況が生じていると感じますか。(複数回答)



更年期症状が仕事に悪影響を及ぼしていると感じている女性56.1%、男性の症状自覚も増加

更年期症状を自覚した女性が40代で42.5%、50代で72%と、更年期症状による40代・50代女性の生活への影響が大きいことが報道で取り上げられている。男性も同様にホルモンバランスの変化による症状自覚者が増加している。

仕事においては「本来の力が出せない」「精神不安定」「誤解を受けやすい」といった、思うようにいかないことや周囲との不和により不利な状況にあると感じていることがわかる。妊娠出産育児・介護と合わせて中高年特有の諸症状への理解を深めること、仕事を諦めずに済むようにキャリア形成支援をすることも、多様な従業員が安心して働ける環境づくりに繋がると言える。

出典：PR TIMES「更年期症状は、女性の仕事にどんな影響を及ぼしているのか？」

「仕事で不利」56.1%／更年期症状の自覚「50代以上」72.0%、「力が出せない」75.2%、「特別休暇必要」57.1% ～しゅふJOB総研調査～

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000734.000003176.html> All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

TOPICS②

中途採用に特に注力している業界は？

6月に中途採用を実施した大企業が5割以上。レジャー、フードサービス従事者は他業種も視野に入れた転職活動を検討

中途社員を募集する上での企業の悩みは「応募獲得」で、中小企業は特に苦戦中。次いで、「応募者の質が良くない」、「自社と求職者で条件に差がある」となっている。一方求職者側は、転職活動をした正社員の現在の職種が「IT・通信・インターネット」「サービス」「レジャー」「フードサービス」の順。医療福祉系や運輸物流系の企業ニーズに対し、求職者志望が少ない結果となっている。

リモートワーク実施頻度による仕事状況変化についての調査では、個人業務の進めやすさ、モチベーションの保持が実施頻度の多さに伴い楽になったと感じている人が多く、完全リモート実施者の8割が個人業務が進めやすくなったと回答している。上司・部下とのコミュニケーションについても実施頻度の多さに伴い楽になったと感じる人が多少増えるため、リモートと出社の併用よりも完全リモートの方がコミュニケーションが取りやすい模様。

出典：マイナビキャリアリサーチLab「2022年6月度 中途採用・転職活動の定点調査」

https://career-research.mynavi.jp/research/20220729_31750/ All rights reserved © 2022 Northernlights, Inc.

【図2】 業種別 6月に中途採用をした割合

